

# 診断京都

社団法人 中小企業診断協会京都支部

No.91  
2009年夏号



## 今だからこそその力の発揮を

～「次の50年」へ、  
頼りになる楽しい支部へ～

中小企業診断協会京都支部の皆様、こんにちは。皆様には日頃より支部活動にご理解を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、いまや「未曾有の」経済危機の真っ只中。厳しいと言う表現を通り超した事態が目の前で展開しています。そのような中で、次々とうたれる「支援施策」。支部のメンバーもフル回転です。

今だからこそ一層の力の発揮が必要とされているのであると実感するこの頃です。京都支部は一昨年来、力量を高め事業を開拓する（事業対応型研究会：研究会でスキルを磨き、専門分野の事業を開拓する）活動を進めてきました。この活動には、企業内診断士を含め多くの支部会員が参加し、予想を上回る「にぎわい」と「事業分野」を切り開いてきています。ま



た、京都市様からのご依頼の「商店街調査分析事業」を50名近い支部会員の協力のもと懸命な取組が進んでいます。さらに、広く見識を高める為の「経営革新研究会」などの支部研究会も活発化してきています。

今年、支部創立50周年の年です。来る、10月17日（土）には烏丸京都ホテルにて、「記念祝賀会」を開催させていただくとともに、府下数箇所地元中小企業の皆様を対象にした「経営無料相談会」を開催させていただく予定です。過去、現在そして未来。支部確立に力を注いでこられた先輩諸氏のこれまでのご苦勞に感謝し、今を懸命に「闘い」抜く支部と支部メンバーの姿を確認し、そして診断士の素晴らしい「未来」を展望する、その為の出発点になればと考えています。「次の50年」へ、更に頼りになる楽しい支部へ、一人でも多くの皆様の参加を願ってやみません。

（山崎 忠夫）

## 中小企業診断協会京都支部 第50回通常総会 開催

中小企業診断協会京都支部の第50回通常総会及び協同組合京都府中小企業診断士会の第10回通常総会が、平成21年5月23日に京都駅前京都タワーホテルにて盛大に開催されました。

今年は京都支部創立50周年に当たり、また新診断士制度の定着化及び診断協会一般社団法人化の流れの中で、従来になく多数の会員が参加しました。

総会における質疑応答も、予定時間をオーバーするのではないかと思わ



れるほどの盛り上がりのなか、原案どおりの内容で決裁承認されました。

また、今年は役員任期満了に伴う役員改選期に当たり、改めて24名の理事及び監事が選任されました。その中から全員一致の推挙により、山崎忠夫氏が前期に引き続き支部長に就任しました。

総会後の17時20分からは会場を別室に変えて懇親会が開催され、多くの来賓とともに、終始和やかな交流が行われました。



# 平成21年度の京都支部執行体制

平成21年6月4日に開催された第2回京都支部理事会にて、支部執行体制ほかが決定されました。今年度の役員体制は、以下のとおりです。

|         |   |
|---------|---|
| 支 部 長   | 山崎 忠夫(全般)   |
| 副 支 部 長 | 山脇 康彦<br>(近畿ブロック、会員キャリア登録、会員交流会)<br>上田 清(金融機関連携)<br>中村 久吉<br>(診断京都、診断士情報システム、支部ML、経営品質研究会：山本)   |
| 常 任 理 事 | 小宮山 衛(厚生・会計)<br>坂本 淳(ウェブサイト運営、個人情報保護、診断士情報システム)<br>成岡 秀夫(法人制度、組織財政、事務所運営管理)<br>西河 豊(診断実務従事研修)<br>藤井 明人(理論政策更新研修)<br>松野 修典(支部会員研修、農業経営支援研究会)<br>坂田 岳史(WEB2.0研究会) |
| 理 事     | 安田 徹(経営相談会、50周年事業)<br>上島 政樹(産学公連携)<br>岡原 慶高(経営革新研究会)<br>恩村 政雄(調査研究事業)<br>杉村麻記子、辻 一幸、山岡 正勝、渡辺 文恵、四方 浩人、北村 建児、松田 茂  |
| 監 事     | 泉 博、山田順一郎   |

※相談役：岸田 道彦、安田 徹(理事兼任)

## 支部の各種研究会紹介

| 名 称           | 活動内容及び幹事等  |
|---------------|--|
| 経 営 品 質 研 究 会 | 経営品質の枠組みの理解および受賞企業の事例研究を通じたメンバーの中小企業支援スキルの向上を目指す。京都経営品質協議会の他、本部および各地の協議会でのセミナー等の開催情報の提供も行う。年間7回の研究会開催を予定。<br>(山本 知美)   |
| 経営革新支援研究会     | 毎月又は隔月の第2水曜日に開催している最も歴史のある研究会。支部会員の診断士スキル向上に貢献している。<br>(岡原 慶高)   |
| 内 部 統 制 研 究 会 | 中小企業に対して、「内部統制」の構築・整備・評価及び経営改善の支援に必要な研究を行い、診断士の新たな活躍の場とする。<br>(佐々木 博)  |
| 農業経営支援研究会     | 農業の経営診断手法の研究、農商工連携支援などの取り組み、地域資源活性化と農業の関わり方、上記に準じる農業経営の支援策の研究を行う。<br>(松野 修典)   |
| WEB2.0 研 究 会  | 半期に1回程度の研究会活動をおこなう。(坂田 岳史)   |
| 産 学 公 連 携 活 動 | 「京都産学公連携機構」等の活動にも参画して、産学公連携における診断士の活動領域拡大を追求する。大学発ベンチャーの支援の可能性を探るほか、マテリアルフローコストアカウント(MFCA)研究会にオブザーバーとして参加し、エコ会計の診断の可能性を探り、できればエコ会計を実施している企業に講義してもらうような研究会を立ち上げる可能性も探っていく。<br>(上島 政樹) |

※ 上記の他に、協同組合京都府中小企業診断士会系のビジネス対応型研究会として、ほっとはあと支援研究会(実行責任者：山脇康彦)、事業承継研究会(同：藤井明人)、リレバン支援研究会(同：上田 清)、知恵経営支援研究会(同：中村久吉)、経営者育成大学研究会(同：坂田岳史)等があります。

※ ご関心の向きは、支部事務所又は上記の幹事等まで、ご連絡ください

# 組合だより

協同組合京都府中小企業診断士会の活動報告をいたします。(以下、敬称略)



## ★第10回定期総会を 5月23日に開催★

平成21年5月23日に京都タワーホテルにて、第50回中小企業診断協会京都支部通常総会に先立ち、第10回協同組合京都府中小企業診断士会定期総会が開かれました。

平成20年度事業報告を専務理事の成岡秀夫から、同年度会計報告を会計担当理事の坂本淳から、それぞれに報告し満場一致で承認されました。

次いで、平成21年度事業計画を山崎忠夫理事長から、同年度予算案を坂本淳理事から、それぞれ提案があり満場一致で承認されました。

第5号議案として、定款の変更を専務理事の成岡秀夫から提案



しました。これは、将来の社団法人中小企業診断協会の法人制度の改革や、昨年も一部改正しましたが協同組合法の改正に伴う定款の変更です。改正の趣旨は、コンプライアンスの確立ですが、これも満場一致の賛成で可決されました。

最後に、役員理事全員の辞任に伴い新理事を選出して、無事に総会は終了しました。

## ★平成21年度の事業年度が始まりました★

総会と同時に第1回の理事会を開催し、理事長に山崎忠夫、専務理事に成岡秀夫を選出しました。

そして、定款変更を京都府へ届出を行い、併せて京都法務局に定款の変更と、新しい理事を登記しました。

平成21年度は新しい定款のもと、公益法人改革の準備や、10月に組合設立10周年記念行事を開催の予定です。

また、研究会をベースにした多くの事業計画があり、去年にもまして活発な事業が展開される予定です。

(成岡 秀夫)

## ★新しい組合役員体制★

|         |  |
|---------|--|
| 理 事 長   | 山崎 忠夫 (全般)   |
| 専 務 理 事 | 成岡 秀夫 (広報・総務・運営、10周年事業、組織財政、再生支援協議会、中央会ほか)   |
| 理 事     | 山脇 康彦 (VCフォロー、ほっとはあと、仕事講座ほか)<br>上田 清 (地域力連携、リレバン等)<br>中村 久吉 (知恵経営支援研究会)<br>坂本 淳 (ホームページ、会計、ハンズオン、中央市場経営指導)<br>小宮山 衛 (宇治等地域力連携)<br>安田 徹<br>西河 豊 (経営指導員研修、経営相談、設備貸与：恩村)<br>藤井 明人 (京都府職員研修、事業承継研究会)<br>松野 修典<br>坂田 岳史 (経営者育成大学) |
| 監 事     | 岸田 道彦、松田幸之助  |

※ 氏名の後の( )内は、任務分担の実行責任を表しています。

※ 協同組合京都府中小企業診断士会は、<http://www.kcs-net.or.jp/>

# 商店街調査研究事業への取り組み

平成21年度(社)中小企業診断協会本部事業の一環である京都支部の調査・研究事業のテーマは、「地域社会における商店街の役割 副題—地域住民に役立ち、地域の魅力を発信する街おこし活動の取組み—」です。



上記テーマ設定に当たっては、昨今 地域コミュニティ活動を推進している商店街が数多く見受けられ、さらに第171回通常国会に経済産業省が、地域住民に役立ち、地域の魅力を発信する「商店街ならではの」取組みを支援することで商店街を活性化することを目的とした「地域商店街活性化法案」を提出・可決されたことに鑑みて決定しました。

京都府下の商店街が「どのような街おこし活動を展開し、自商店街の活性化および地域コミュニティ活動へのお役立ち」状況を調査し、商店街活性化施策のあるべき方向を研究することを、支部長及び支部幹部と検討の上、上記

テーマにしました。

当調査・研究事業の推進に当り、特に留意していることは、

- ①京都府や各地区の市・商工会議所・商工会等の関係機関等に当調査・研究事業の主旨と進め方を説明し、上記テーマ活動を実施している商店街の紹介と調査協力を得る。さらに調査・研究事業終了後のさらなる事業展開を図る。
- ②自商店街の活性化だけでなく地域社会の振興に役立っていると地域社会にも認識されている活動を継続推進している商店街をフォーカスする。

現在は、京都府・市・商工会議所・商工会に対し調査・研究事業内容の説明を終え、理解と協力を得て調査対象候補商店街のセレクトがほぼ終了しています。

これからは平成22年1月の京都支部・調査研究事業発表会に向けて鋭意取組み推進を行います。  
(恩村 政雄)

## 3つの「商店街関連事業」について

平成21年度、中小企業診断協会京都支部では3つの「商店街関連事業」に取り組みます。それぞれの違いについて、ざっくりとご紹介します(下表参照)。



| 事業名                | 項目 | 京都市内商店街調査分析事業                               | 商店街診断事業  | 商店街調査研究事業   |
|--------------------|----|---|--|---|
| 事業主体               |    | 京都市   | 京都商工会議所  | (社)中小企業診断協会本部                                     |
| 目的                 |    | 京都市商業ビジョン策定のための基礎資料を作る・商店街概況調査・商店街活性化に向けた助言 | 「事業承継」を中心テーマに、個店の活性化に対して商店街としてどのように関わっていくべきかについて助言する | 商店街のコミュニティ活動について調査研究するとともに、そこに求められる診断士の役割について考察する |
| 対象商店街              |    | 市内161商店街                                    | 市内3商店街   | 府内30商店街程度   |
| 報酬                 |    | あり  | なし   | あり  |
| 資格更新に向けた実務従事ポイント対応 |    | 原則、1日当たり1ポイント                               | 原則、1商店街当たり6ポイント                                      | なし  |
| 事業への参加費用           |    | 不要  | 必要(受講料形式)  | 不要  |
| 募集方法               |    | 公募  | 公募   | 公募  |

支部では、これら以外にも、経営革新支援研究会や事業対応型研究会等に関連した事業、会員交流会など多くの事業に取り組んでいます。支部会員の皆さまにおかれましては、自己研鑽や人脈作りなどに、これらの機会を、ぜひご活用ください。  
(山脇 康彦)

# はんなり診断士



**谷口 真**  
(たにくち まこと)

京都商工会議所  
知恵ビジネス推進室 勤務

一昨年の試験に合格し、昨年の実務補習後に京都支部に入会させていただきました谷口と申します。私は京都商工会議所に勤務している企業内(?)診断士です。この春に、産業振興部まちづくり推進担当から中小企業経営相談センター知恵ビジネス推進室に異動し、今まで以上に日々の業務の中でも、山崎支部長はじめ諸先輩方に大変お世話になっております。

診断士の勉強を始めたきっかけは、何となく「経営コンサルタント唯一の国家資格」という点に惹かれたことです。当初は通信教育で学習したものの、一次の二科目めで挫折してしまいました。しかし、せっかく勉強しかけたのにもったいないと思い、今度は通学講座で再チャレンジしました。通学講座では、学習する内容

が新鮮でどんどんハマっていき、何とか二度目の二次試験で合格できました。

産業振興部時代は主に環境関連の業務を担当しておりました。京都議定書の地ということもあり、様々な方々に京商の環境への取り組みをご注目いただく中で、仕事ができただことは大変貴重な経験となりました。

現在は、「経営革新」、「知恵の経営」、「経営品質」を主に担当しております。これらは支部の勉強会にも参加させていただいておりますが、会議所職員としても、診断士としても、勉強することばかりです。

診断士の知識は、日々の経営支援業務の中でも役立っていることはもちろんですが、診断士の資格は、経験豊富な経営者の方にも、若輩者の意見に耳を傾けていただくきっかけになっています。今後は支援スキルを高め、地元中小企業への経営支援を通じて、京都経済の振興と街の活性化を図っていきたく思いますとともに、僭越ながら京都支部と会議所の架け橋になるべく努力してまいりたいと思いますので、今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



**富田 隆司**  
(とみた たかし)

三菱自動車工業株式会社 勤務

こんにちは。50前の新人ですがよろしくお願い致します。

現在、三菱自動車工業(株)の愛知県岡崎工場に勤務していますが、京都生まれの京都市育ちですので、現在も家族を京都に残して単身赴任しています。

勤務先では、生産技術担当として主にエンジンの生産を担当しておりますが、やはり大手メーカーの細分化された業務担当分野の一部を担当しているだけですので、私自身も生産に関して幅広く通曉しているわけではありません。その意味で専門分野は無いに等しいです。

そもそも、中小企業診断士を志した理由が二つあります。ひとつは部品を供給いただくサプライヤー企業の技術支援を担当していた時期がありました。単なる技術支援以外にサポートできることはないかということを考えるようにな

り、診断士の資格を取得することで別の視点からサポートできないかと思ったものの、途中から社内設備担当に変わったので、この目標はあまり意味がなくなってしまいました。

もうひとつの理由は、やはり会社全体のほんの一部を見ているだけでは多少物足りないという思いがあったことです。当時、弊社の本社が京都に移転するかもしれないという話があり、この資格を梃子に企画管理部門を希望すれば、京都に戻れるのではというかなり不純な動機もありました。結局これもあてが外れて、今なお単身赴任を続けております。

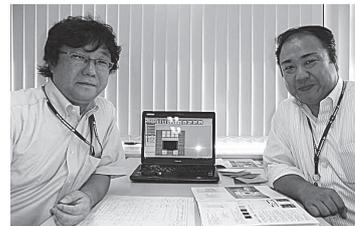
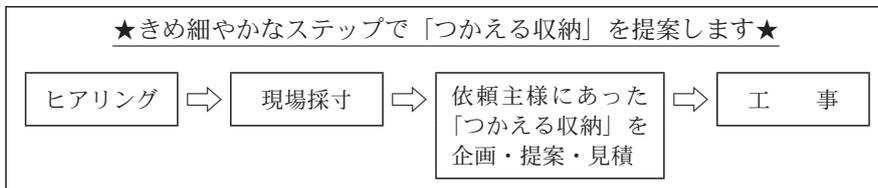
このように初めの志の意味が無くなり、40過ぎての学習は思うほど進まず、また時間の関係で学習手段は自習と通信教育しか無いのでいっしょに勉強する仲間もいないという状況でした。ほとんど挫折しかけていたのですが、運よく合格することができたというのが実状です。

正直申し上げて勤務時間以外にあまり時間の取れない企業内診断士にとって資格更新の要件を満たすのは容易ではありません。結局5年後に資格更新不可で挫折することになるのではと思っておりますが、少しは粘ってやろうという気持ちはもっております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 起業支援・新規事業支援の現場から③

今回は、起業支援の現場から、4月設立の起業さん「KSクリエイト株式会社」の久我社長さま、佐々木専務さまのお話をお届けします。

KSクリエイト株式会社 ～快適な住まいを創造する～



〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町93番地 京都リサーチパーク4号館5階V I O  
TEL 075-321-3381 FAX 075-315-9297 ksckyoto@ybb.ne.jp

### 【今がチャンス！！】

中 川：「唐突ですがいまなぜ起業しようと思われたのですか？」

久 我：「たくさんの実をつけたりんごの木をゆすると悪い実が落ちるでしょう。それと同じです。顧客の目が厳しい時だからこそ、《あたり前のことをあたり前にしっかりやる》ことで選んでもらえる、新築を20年間営業してきたノウハウを活かせる、そんな事業を立ち上げよう！と思いました。」

佐々木：「新築の販売件数が減少傾向にあったこともありますが、もっとお客様のためになる仕事がしたいと思ったのも確かです。」

中 川：「それがリフォームや造作家具なのですね。」

佐々木：「建て替えでは無く愛着のある家をリフォームして家族構成や年齢にあわせて住み続けることを提案していきたいですし、新築ではなく中古物件をリフォームして自分らしく暮らしてほしいですね。」

久 我：「いろんな意味でリフォームのニーズは確実に増えていくと思いますし、必要なものにはお金を払うという現実があります。」

### 【3ヶ月間を振り返って】

中 川：「設立3ヶ月を振り返ってどうですか？」

久 我：「新築営業20年のノウハウを元に販売促進活動をしました。いわゆるターゲットエリアに対するチラシのポスティングです。ダイレクトに顧客へアプローチすることが重要だと思っていましたから。」

佐々木：「しかし、思っていた反応がありませんでした。そこで、リビング誌へ広告を掲載しました。課題の投げかけや読ませる内容で掲載したところ、思った以上の反響あり成約にもつながりました。」

久 我：「名の知れていない当社に電話がかかってくることはあまり期待していませんでしたので、《ああ、顧客はエリアに縛られること無くどこにでもいるのだ》という自信につながりました。」

中 川：「知名度ではなく記事の内容をきちんと読んで電話があったということですね。」

久 我：「いろんな経験をしながら3ヶ月がたって、やっとこの事業をやっているという自信・確信が持てました。思い込みや好き嫌いはやめて状況を正しく判断していきたいですね。」

### 【ヒアリング能力がポイント】

中 川：「問い合わせの電話を契約につなげる際のポイントは何か？」

久 我：「問い合わせ電話でのやりとり、訪問時にどれだけ情報収集できるか、どれだけ有益な存在であることをアピールできるか（経験・ノウハウを織り交ぜながら）、それはまさにヒアリング能力の成せる業ですね。今回の契約も住まいに関することは何でも相談してもらえる存在になれたという証拠だと思います。」

### 【支援者の存在】

中 川：「ご自身の経験を元に着々と事業を進められているわけですが、支援者の存在についてどう思われますか？」

佐々木：「自分たちの思っていることを聞いてほしいですし、いろんな話を聞きたいという思いがあります。」

中 川：「ありがとうございました。これからもお役に立てる情報提供、ディスカッション、ネットワーク紹介をしていきたいと思っています。」

### 【取材を終えて】

事業推進者はあくまでも経営者です。支援者の立場として、経営者が考える際のヒントとなるような成功事例・失敗事例、異業種の事例、コラボレーション提案などをしていければと思っています。お互いに積極的に「話す・聴く」の関係ができた時に初めて役立つ関係になれるのではないかと考えています。

渡邊 文恵 (中川)

「経営支援プラザUMEDA」は、中小企業基盤整備機構近畿支部が大阪駅前第3ビル19階に開設したトータルサポートセンターです。今回は、同プラザに勤務されており、支部会員でもある牧田篤男さんにお話をおうかがいしました。



牧田篤男氏

Q. どのような目的で、いつ頃できたものですか？

A. 中小企業及び支援機関の知的・人的交流拠点としての役割を果たすために平成19年6月に開設されました。周辺には、約25の都道府県事務所、大学エクステンションセンター、日本政策金融公庫などがあり、中小企業支援の結節点として適した立地状況にあります。

Q. どのようなサービスを提供されていますか？

A. ①人材育成の支援、②市場開拓の支援、③情報の収集・提供です。その3つをワンストップサービスで行う拠点として活動しています。

①人材育成の支援では、中小企業大学校関西校カリキュラムの研修の他、中小企業支援担当者向けの研修を、スクール形式で120名強の収容可能な自慢のセミナールームで実施しています。その他、「梅田セミナー（無料）」と題して、現代のトピックと機構PRをコンセプトにした企画のセミナーを月1～2回のペースで実施しています。

②市場開拓の支援としては、常設の展示コーナーや年に2回実施の商談会（「TenQooマルシェ」）を、

③情報収集・提供としましては、中小機構や中小企業庁の他、多数の中小企業支援機関が発行するパンフレットやチラシの収集・配架を行っています。

Q. どのような方にどのように利用してもらいたいのですか？

A. 主に中小企業・ベンチャー企業とその支援に携わっていらっしゃる方々です。特に、業績不振は続いても、挫けず元気に頑張ろうとされる経営者への応援は、プラザだけでなく、近畿支部が一丸となって支援していきます。また、単なる情報収集の場としてだけでなく、クライアントや関係支援機関との交流の場、待ち合わせや打合せの場としてもサロンのスペースを活用していただけたらと思っています。

Q. 中小企業診断士（支部会員）にはどのように利用してもらいたいのですか？

A. 中小企業の方（経営者に限らず）との交流の場としてご利用ください。また、当プラザと一緒にとりくめることがあれば共同で催していけると良いですね。

Q. 9月以降のサービスメニュー（研修など）をご紹介ください。

A. 梅田セミナーでは、目下、人事労務や社員教育をテーマにした講演を予定しています。また、研修では『女性リーダー研修』や『マーケティング入門』、『5Sと製造現場の「見える化」』等を当プラザのほか「神戸市産業振興センター」でも実施します。その他、常設の展示コーナーでは10月初旬より第5回出展が始まります。（7～8月は審査中）テーマは第4回と同じく「食と飲」。あとは、11月13日（金）に長崎県五島市と共催で商談会「天空（“TenQoo”）マルシェ」を実施予定でして、10月にかけて出展企業募集および来場企業案内を行います。

Q. 研修やイベントの情報を入手するにはどうすればよいのですか？

A. 当プラザで毎月定期に配信するメールマガジン「TenQoo通信」（通常19日配信）をご利用ください。また、ホームページでは、タイムリーに情報を発信しています。

Q. 最後に、経営支援プラザUMEDAの一番の自慢は何でしょうか？

A. 何と言っても「スタッフの心遣い」でしょうか。正直、どこにも負けないくらいスマイル対応を心掛けていますよ（笑）。来場者に対する快適な利用環境の提供をモットーに、日々の対応に努めております。

（山本 知美）

### 経営支援プラザUMEDA

大阪市北区梅田1-1-3大阪駅前第3ビル-19階

電話：06-6342-1071 FAX：06-6342-1075



